

(CLAIM)

1. An electronic card for name card, comprising a memory unit for storing data relating to a name card, a transmission connector for outputting said data, a reception connector for inputting said data, a display unit for displaying said data, a operation unit for manually designating data that is to be displayed on the display unit or to be transmitted to said transmission connector, and an operation unit for transmitting said data to said display unit or to said transmission connector read from said memory unit in response to the designation, and for writing said data in said memory unit received by said reception unit.

公開実用 昭和61-180758

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-180758

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)11月11日

B 42 D 15/02
G 06 F 15/02
G 06 K 17/00
19/00
G 09 F 1/02

7008-2C
7343-5B
6711-5B
6711-5B
6810-5C

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 電子名刺カード

⑯ 実 願 昭60-64092

⑰ 出 願 昭60(1985)4月29日

⑱ 考 案 者 折 笠 裕 己 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 本 庄 伸 介



明 細 書

1. 考案の名称

電子名刺カード

2. 実用新案登録請求の範囲

名刺に関するデータを記憶する記憶部と、前記データを出力する送信コネクタと、前記データを入力する受信コネクタと、前記データを表示する表示部と、前記記憶部に記憶してある前記データのうち前記表示部に表示すべき又は前記送信コネクタに送るべきデータの指定を手動で受ける操作部と、前記指定に応じて前記記憶部から前記データを読み出し前記表示部又は前記送信コネクタに送り、前記受信コネクタに受けた前記データを前記記憶部に書き込む演算部とからなる電子名刺カード。

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)



本考案は、名刺に関するデータを記憶し、手動操作により選択した名刺データを表示したり、相手側の同様の装置に送出したりするのに用いる電子名刺カードに関する。

（従来の技術及び問題点）

従来、商談等において互いに名刺の交換がなされているが、良く知られている如く、この名刺は紙から出来ているものである。従って自分自身も多数の名詞を持ち歩かねばならず、また受け取った相手側の名刺もホルダー等に保管しておかねばならず、必要時にホルダー等から捜し出すために多くの時間を要した。

そこで本考案の目的は、使用者自らの名刺データ及び他人の名刺データが手動操作により任意に表示でき、さらに相手方の名刺データを記憶したり、その相手方の同様な装置に自らの名刺データを送出できる電子式の名刺カードの提供にある。

（問題点を解決するための手段）

前述の問題点を解決するために本考案が提供す



る電子名刺カードは、名刺に関するデータを記憶する記憶部と、前記データを出力する送信コネクタと、前記データを入力する受信コネクタと、前記データを表示する表示部と、前記記憶部に記憶してある前記データのうち前記表示部に表示すべき又は前記送信コネクタに送るべきデータの指定を手動で受ける操作部と、前記指定に応じて前記記憶部から前記データを読みだし前記表示部又は前記送信コネクタに送り、前記受信コネクタに受けた前記データを前記記憶部に書き込む演算部とからなる。

（実施例）

次に本考案の実施例について図面を参照して説明する。

第1図は本考案の一実施例のブロック図である。ここで、1は表示部であり、液晶や発光ダイオード等からなる。6はキー等の操作部であり、必要とされる名刺を見たい時にはキーを操作すると、演算部2は記憶部3に貯えられていた名前、住所、電話番号などの名刺のデータを表示部1に





表示する。

名刺の交換は第2図の如く行なわれる。自分自身の電子名刺カード7a及び相手側の電子名刺カード7bの送信コネクタ4と受信コネクタ5とを互いに接続し、操作部6の操作により自分自身の名刺データが送信データコネクタ4を通して相手側の電子名刺カード7bの記憶部に貯えられる。逆に相手側の名刺データが受信コネクタ5を通して自分自身の電子名刺カード7aの記憶部に貯えられる。

（考案の効果）

以上説明した様に、本考案の1枚の電子名刺カードを用いることにより、自分自身の名刺を多数持ち歩く必要もなく、又相手側の名刺を多数保管する必要もない。さらに相手側名刺を捜すにはキー等の操作で良く、瞬時に必要な名刺を捜し出すことが可能である。本考案の電子名刺カードは、現在の電卓と同様の技術により胸ポケットに入るほど充分小型化出来る。

以上要するに本考案によれば、使用者自らの名



刺データ及び他人の名刺データが手動操作により任意に選択して表示でき、さらに相手方の名刺データを記憶したり、その相手方の同様な装置に自らの名刺データを送出でき、従来の紙の名刺に代わって用い得る電子名刺カードが提供できる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例のブロック図、第2図は2つの第1図実施例の接続による名刺交換の態様を示すブロック図である。

1…表示部、2…演算部、3…記憶部、4…送信コネクタ、5…受信コネクタ、6…操作部。

代理人 弁理士 本 庄 伸 介

